



月刊

ポケットあわじ



ボランティア魂



ガイドリーダー
細川 末勝さん

洲本城 ボランティアガイド

淡路島には西日本最大級の山城といわれる洲本城跡がある。その洲本城跡は、洲本市街地南側にある三熊山山頂にあり、戦国時代から江戸時代にかけて築かれた。現在も往時をしのぶ石垣などがほとんど残っており、国の指定史跡にもなっている。

洲本城跡の歴史や城郭などのガイドをボランティアでされている人達のグループがあります。現在は男性10人あまりで、団体や個人からの依頼があれば曜日問わずガイドをしています。相手の要望に合わせて対応され、登山口からガイドをしながら歩いて登り、その場合は1時間20分くらい、山頂の城郭だけだと40分くらいなど、それぞれの時間や体力に合わせて洲本城跡の案内をされています。

ガイドリーダーの細川末勝さんは、退職した後に先輩からこのガイドを勧められ、それから洲本城の歴史などを勉強されたそうです。ガイドをしていて嬉しかったこと

は、何と言っても「ありがとうございました」の一言で、反対に困ったことは、私語が多くてガイドの話を聞いてくれなかったことだそうです。

「これからもこの立派な洲本城のことを、もっともっと多くの人に知ってもらいたいし、まだ埋もれたままの石垣などが多く残っているので、ぜひとも早い時期に復元してほしいですね」と熱く語ってくれました。細川さんをはじめボランティアガイドの人たちは、この立派な洲本城が大好きなんだろうなあって思いました。応援隊：田処 幸久

※ 洲本城跡のボランティアによるガイドは、洲本観光案内所（電話0799-22-0742）へ事前に予約が必要です。

今月の特集 ボランティア魂

- P.1 ・洲本城ボランティアガイド
- P.2 ・諭鶴羽古道を守る会
- P.3 ・サークルすずめ・淡路弁講座①岩屋弁

もくじ

- P.4 ・おじゅっさん ・淡路弁講座②由良弁、福良弁
- P.5 ・生活創造応援隊
- ・今月の生活創造活動グループ紹介 「ひびき」
- P.6 淡路文化会館・淡路消費生活センターからのお知らせ
- P.7.8 淡路の文化活動・イベント情報

諭鶴羽古道を守る会



古道整備



信仰の道・修行の道・癒しの道

諭鶴羽神社と諭鶴羽古道を守る男たち



諭鶴羽神社

ソチオリンピック・フィギュアスケートの羽生結弦選手とどこか名前が似ていて一躍有名になった諭鶴羽神社。地域の宝である諭鶴羽古道や諭鶴羽山を守り、興隆させたいと願って活動しているおよそ20人の「諭鶴羽古道を守る会」について、宮司の奥本憲治さん(52才)にお聞きました。

諭鶴羽山は、標高607.9m淡路島最高峰の山です。この諭鶴羽山には、諭鶴羽古道という登山道があります。修験道盛んな時代には修行の道として、また地域の人々の生活の道として活躍してきました。今でも表参道には江戸時代享保二十年(1735年)銘の町石が、裏参道には寛保四年(1744年)銘の町石が現役で登山者の安全を見守る由緒ある古道です。この古道からは、建武元年(1334年)銘の町石も発見されています。しかし、昭和40年代、諭鶴羽山に車道が開通すると歩く人も少なくなり、さらに手入れをする地域の方々の高齢化もあり、荒れていく一方でした。そこで、諭鶴羽神社より地域の方に声をかけて、平成十七年「諭鶴羽古道を守る会」を発足させ、活動を開始しました。

一番中心となる活動は、4月、8月、11月の年に3回行う古道

の清掃整備です。樹木の枝切りをしたり危険な箇所にはロープを張ったりして景観を保ち、登山者の安全を確保しています。二番目は、諭鶴羽山の魅力を発信する広報活動です。パンフレット「諭鶴羽古道」「諭鶴羽山」、登山道マップ「楽しい！諭鶴羽山登山」を発行し、諭鶴羽山の魅力を発信・紹介しています(無料配布)。三番目は行事の開催です。諭鶴羽神社新嘗祭にあわせた「山開き登山」(11月)。この行事に先立って登山道を整備し、冬場登山者の多い諭鶴羽山の安全宣言もかねた登山行事です。お正月

の三が日は諭鶴羽神社で「新春登山 登頂証」を渡しています。2月の祈年祭には、トレイルラン「諭鶴羽山 早駆け」と「早春登山」行事を実施しています。そしてその他、諭鶴羽神社で行われる春祭りや、採燈大護摩供法要などに参列したり、協力することでお祭りを活性化することも行っています。

今後も活動の輪を広げ、たくさんの方に諭鶴羽山の四季折々の自然を楽しんでいただけるよう取り組むとともに、地域の振興、活性化に寄与していきたいと考えています。

(宮司 奥本憲治 記)

応援隊:村上 紀代美

天然記念物アカガシ群落



焼きモチおいっ！



絆 サークル すずめ

震災を機に発足 室津(北淡)のボランティアグループ

大震災後に結成した「サークルすずめ」

お年寄りを招き会食会で絆を深める

平成7年1月17日、阪神・淡路大震災を経験し、悲しみに打ちひしがれている時、全国各地の皆さまやボランティアの方たちから物心両面のご支援をいただき、人の心の温かさに感謝しつつ少し落ち着き始めたころ、慣れない仮設住宅の人たちは少しストレスをためてきているようでした。自分たちでも何かできないだろうか、室津地区社会福祉協議会の呼びかけで、賛同者20名余りが集まってボランティアグループ「サークルすずめ」を立ち上げました。

年齢・職業・男女を問わず、何の制約もなく、参加できる時に参加し「地域の人たちが元気になるのが一番」と思っている人たちの集まりです。地震でお店が少なくなり、数人が集まったのおしゃべりの場も少なくなったので、地域の75歳以上の方たちに呼びかけて、旬の材料を使った食事をしながら話に花を咲かせてもらおうと、平成8年11月から年5回、会食会を行っています。

最初のご飯が少しかたいのでは？味も濃いのでは？などなど、反省しきりでした。でも18年間過ぎてきた現在では参加する人たちも心得たもので、煮つ



けの得意な人、汁物が得意な人、揚げ物が得意な人(マイ鍋持参です)、盛り付けが得意な人など、各自自分の得意とする分野を心得ています。2か月ぶりに会ったの料理作りですが、「サークルすずめ」の名のごとく、話に花を咲かせながらも手をせっせと動かし、時間内には出来上がっています。そして、参加する回数が増すごとに料理の勉強にもなり腕も磨いています。

自分たちも75歳になって料理を作っていただけの日を夢見ながら、参加された方から「おいしかった」「次回もよろしく」「ありがとう」と言われることがうれしくて頑張っています。また、夏まつりにも「サークルすずめ」として参加し、ポテト・から揚げなどを地域の人たちに楽しんでいただいています。子どもから、おじいさん、おばあさんまで今日も一日楽しかったと思ってもらえるよう「チーム室津」の一員として参加できることを皆で楽しんでいきます。 応援隊: 廣岡ひろ子

淡路弁講座①～岩屋弁～ =4月は漁師町特集= 岩屋弁を訳してみよう。近くに岩屋の人がいたら発音してもらおう。

「きょう、こんまいあっきい鯛とれたのあ〜。」
「やあ〜やあ〜。そうかいの、ねや」
「やあ〜やあ〜」



こんまいあっきいとかあっきいこんまいは岩屋流誇張表現。大きいのか・・・小さいのか・・・? 「やあ〜やあ〜」は、岩屋流相づち。「やあ〜」が「みやあ〜」と聞こえるという噂もチラホラ・・・

訳「今日すごく大きい鯛がとれたんだよ。」
「へえ〜そうなんだね。」「へえ〜へえ〜」



音楽♪・・・お笑い(^o^)
ありがとう～いお話し...



おじゅっさんは
子どもたちの人気者

みんなに笑顔を届けます・



おじゅっさん

『あるがまま』～無心～

近くを歩いていると、子ども達が「おじゅっさん！」と声をかけてくれます。こちらも嬉しくて笑顔になり元気をいただいています。子どもとの繋がりはお寺ということもあって保育所や小学校の子ども達が春には花見、夏には座禅、秋にはどんぐり拾いなどで訪れてくれます。その時は紙芝居にギターと一緒に歌って楽しく触れ合っています。

最近では中学生が一年生のオリエンテーリングのコースにお寺が入っていて「おじゅっさんとこや！保育所の時来たな、僕覚える！」と言ってくれます。とっても元気づけられ嬉しくなります。

子ども達と触れ合いながら思うことは、大人は「自分はこんなに良いことをしているのに」と思った時私に関わる人を「良い人」・「悪い人」に区別してしまいます。自分はいいことをしているのにといい、とらわれて執着しています。でも、いつも子ども達の眼は

輝いています。お寺に来て先生からのお話が終わると、待ち切れずに境内を走り回り木登りを始めたりする子ども、お地蔵さんに手で触れている子ども、お手洗いでどこ？と尋ねてくる子ども・・・みんな目がキラキラ輝いています。喧嘩をしても帰りには仲良く手を繋いで帰る姿を見ていると「こだわり」がないことに気づかされます。

子ども達の生き生きして、何事にもとらわれず、素直で無心な姿に触れると、忘れていた子どもの頃の心が懐かしく、何かにこだわりを持って区別してしまうことが良くないことに気づかされます。あるがままに生きてゆくことが大切だと子どもを通して教えられます。これからも笑顔で触れ合っていきたいと思っています。 合掌

応援隊 竹原 祐乘

淡路弁講座② おもしろ淡路弁！おもしろいだあ～ おもしろ淡路弁！

～由良弁～ 由良弁を訳してみよう。近くに由良の人がいたら発音してもらおう。

貝堀りのメッカ由良成ヶ島。地元由良の人はこの地を「**ぢきやあ**」と呼ぶらしい。由良の春は「**きやあ～**」で始まる。



「やあ～ら、ぢきやあへきやあがま持つてきやあほんにいつこあ。」
「こっちら、きんによほつてつてよー。きよは、きやあじるじゃあ」

訳「あなた達向こう岸(成ヶ島)へ貝堀り鎌を持って貝を堀りにいきませんか?」「私は昨日掘ってきたのよ。今日は貝のお味噌汁よ。」

～福良弁～ 福良弁を訳してみよう。近くに福良の人がいたら発音してもらおう。



福良でよく聞かれる「**かじ?**」「**かじ**」。接続詞「**ほん**」の発音も要チェック!!

「がいにサワラつれたさがいほん、おまはんも食べるかじ?」「そーかに。ほんもらあかに。ほんでほん、うまい食い方教えてくれかじ」

訳「たくさんサワラが釣れたんだ。君も食べてくれないかい?」「そうなんだ。そしたら貰おうかな。そして、美味しい食べ方を教えてくれないかい?」



今月の特集はボランティア!
このポケットあわじの応援隊もボランティアです。
来年度に向け、四字熟語で紹介します。

毎月こんな
感じで話し
合っ、内
容を決めて
います。



「二升五合」 栄 宏之
トレンチが利いていて、不況下の商売人の
本音をさり気なく表現してくれています!!

「芽存一刻」 竹代 結
心に芽吹く一瞬のきらめきを大切に持
ち続けることにより夢が叶う。

「一期一会」 三宅 恵理子
人との出会いを大切に素敵な一年にしたい。

「言行一致」 岡 まさよ
すばやく情報をキャッチして自分自身で出
かけ記事にすることが出来たらいいな!

「一日一生」 中山 千秋
一日一日を大切に、出逢いに感謝です(^.^)

「温故知新」 廣岡 ひろ子
故(ふる)きを温(たず)ねて新しきを知る。

「一期一会」 田処 耆久
これから先も出会いを大切にしたいと思っています。

「立腹失笑」 竹原 祐乗
腹が立つと、笑いもでません。今年もにこにこ。

「臥薪嘗胆」 田村 ひろ子
淡路島の住人を掘り下げて素敵な島民を発掘したい。

「生涯青春」 浜田 泰美
年齢を重ねても、気持ちはいつも若々しく
好奇心一杯でありたいと願っています。

「共存共栄」 坂本 厚子
色々意見が違いがありぶつかり合う事もあるでしょうが、敵対することなく、共に
生き共に栄えること。世界の人たちが平和な日々でありますように。

「行雲流水」 藤本 法美
空の雲や、河を流れる水のように、自然の成り行きに任せることを意識すること
が、自分や子供たちのQOLを上げることにつながるんじゃないかなあ。

「節約◎金」 池田 けい
とうとう増税。益々節約生活です(涙)でも、賢く節約して◎金
(〜そくりではありません! ゆとり貯金です) 公開を後悔?

「大器晩成」 村上 紀代美
子どもたちが幼い時、そう思いました。今、自分もそうだと
思います。まだ、晩成していませんが。

「魅力発信」 川原 雅代
宣誓! 我々応援隊一同は今年度も淡路島内を東奔西走し新しい
淡路島の魅力を発信し続けることを誓います。

「七転八起」 竹谷 香代
転んでも転んでも起き上がります。

来月からは、また新しい応援隊を迎え、ぽけっとあわじを発行していきます。
応援よろしくお願いします。

今月の 生活創造活動グループ紹介

ひびき



“みな様こんにちは!

ひびきが声のお便りをお届けします〜”と、目の不自由な人達に広報、議会便りなどをテープに録音して聞いていただくようになって17年になります。早いものですねえ。最初の頃は本当に大変だったのですよ。1台しかない録音機を囲んで、もちろん防音室なんてありませんから、音をたてないように気をつけながら…。今思い出してもドキドキしますね。以来一度も休まず毎月テープをお送りしています。

ほかにも、最近では子育て学習センターで小さなお子さんやお母さん達と一緒に絵本や紙芝居を楽しんでいます。福祉まつりには毎年絵本コーナーを設けてもらい、昨年は桃太郎のペーパーサートも用意したのですよ。桃太郎はグループホームでも人気でしたね。顔を出すたびにおばあさんたちが大喜びしてくれました。

社協さん主催の高齢者のつどいにも出かけていくのですが、そんな時は、その地域に古くから伝わっている民話やその土地にまつわる昔話などを選んで、写真や絵をスクリーンに映しながらお話を聞いていただいています。そしてそんな地元のお話を子ども達にも伝えていかなければなあと思っているのです。ひびきのメンバーは現在10名、みんなおしゃべりで元気ですよ。朗読は脳の活性化にもいいそうです。ぜひ皆さんもどうぞ!

寄稿:朗読ボランティアグループ ひびき

★淡路文化会館からのお知らせ★

「いざなぎ学園」 二次募集のご案内

募集講座 ①4年制大学講座
②2年制大学院講座

講座内容 郷土文化、歴史、健康、趣味、
地域活動、スポーツ等

対象 概ね50才以上の方

受講料 12,500円(その他自治会費等)

募集期間 ~平成26年4月8日(火)

応募方法 公共施設等の募集案内または、淡路文化会館のホームページをご覧ください。

問い合わせ先 県立淡路文化会館
(淡路市多賀600)
TEL:0799-85-1391
FAX:0799-85-0400

※学校教育法第1条に規定する大学とは異なります

この学園では、おおむね淡路島内の中高年の皆さんを対象とした学習、趣味伸長、仲間作り、そして地域活動の講座を行っています。

【大学講座の例】

- 教養講座** 「お手軽・簡単・健康術」
「南海の要塞 洲本城」
- 専門講座** 「黒田官兵衛」
「鍼灸が体にいい理由」
- 実技実習講座**
「食、ものづくり、健康体操」
- 学年別講座、サークル活動**

★兵庫県淡路消費生活センターからのお知らせ★

「ワンクリック請求」にご用心！

パソコンや携帯電話、スマートフォンを使いインターネットに接続し、サイトを閲覧していたら、年齢認証を求められクリックしたところ、一方的に会員登録となり、高額な料金を請求されるという相談が多く寄せられています。

事例

携帯電話で、着メロサイトを見ていたら、突然無料のアダルトサイトが表示され、18歳以上をクリックすると登録完了となり、3日以内に登録料90,000円を支払って下さいとあった。携帯電話の「機種名」「个体識別番号」が表示されている。支払わないと、連絡がくるのではないかと不安である。

消費者へのアドバイス

- ◆利用料金や利用規約を明確にしていない為、契約は成立していません。金銭は支払わないようにしましょう。
- ◆パソコンのIPアドレスや、携帯電話の个体識別番号などで個人情報が伝わることはありません。電話やメールで業者に連絡することは、電話番号などの個人情報を知られる事になります。あわてて業者に連絡しないようにしましょう。
- ◆サイトを利用する場合は、必ず利用規約等を確認することが大切です。興味本位のクリックは避けましょう。

★トラブルに遭ったら最寄りの消費生活センターに相談しましょう。

兵庫県淡路消費生活センター 商品や契約についてお気軽にご相談ください。
◇消費生活相談・多重債務相談 電話0799-23-0993
9:00~12:00 13:00~16:30 (土日祝日・年末年始は除く) (電話受付)



所	イベント	日時・会場	料金・問合せ先
淡路島 国営明石海峡公園 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	オランダ衣装体験	4/5(土)～20(日)の土日 10:00～17:00 ※大地の虹	300円 ※雨天中止 ※別途入園料、駐車料金必要(4/6は入園無料)
	無料入園日	4/6(日) 9:30～18:00	※別途駐車料金必要
兵庫県立 淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201 10:00～18:00 (最終入館17:30)	春爛漫 花見の庭	～4/20(日)	入館料 大人600円 65歳以上300円 高校生300円 中学生以下無料
	淡路夢舞台薔薇祭2014	4/26(土)～6/8(日)	
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	第6回わくわく フリーマーケット in洲本市文化体育館	4/6(日) 10:00～16:00 メインアリーナ 「しおさい館」	入場無料 【問】洲本市文化体育館
	オペラ歌手による コジ・ファン・トゥッテ ええとこどり! ハイライトコンサート	4/18(金) 19:00～21:00 文化ホール「しばえもん座」	500円 ※全席指定(未就学児童入場不可) 【問】洲本市文化体育館
(一財)淡路島 くにうみ協会 〒656-0022 洲本市海岸通1-11-1 TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521	淡路島くにうみ協会設立 5周年記念シンポジウム	4/20(日) 13:30～ 洲本市文化体育館 文化ホール「しばえもん座」	無料 ※要事前申込、先着順 受付 【問】淡路島くにうみ協会
淡路人形座「4月公演」	【日時】4/1(土)～26(土)、28(月)、29(火祝) 10:00,11:00,13:00,14:00,15:00「人形解説」「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」 ※鑑賞料 大人1,500円 中高生1,000円 小学生800円 幼児300円 ◎4/9,15,16は臨時休館です。(15日は10:00の公演のみ行います) ◎他の日程等については下記までご確認ください。 【問合せ】TEL:0799-52-0260(淡路人形座)		
平成26年度 求人企業合同説明会	【日時】5/10(土) 13:00～16:00 【場所】洲本市文化体育館 コミュニティアリーナ 【対象者】平成27年3月に大学、短期大学、高等専門学校、専修学校卒業予定者 または、卒業3年以内の大学等の既卒者 【問合せ】淡路地域雇用開発協会事務局(洲本商工会議所内) TEL:0799-22-2571		

兵庫県が、1対1のお見合いの機会を提供します。

★会員同士の合意が得られた場合、出会いサポートセンターでお見合いします。
★3人のサポーターが、あなたの出会いをお手伝いします。

素敵な出会いを見つけよう

はばタン会員募集中

〒656-0021 洲本市塩屋2-4-5洲本総合庁舎 1階
●TEL (0799) 24-2717 ●FAX (0799) 24-2810

●受付日時 火曜日～土曜日 9:00～17:15

※センター休館日：日曜日・月曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

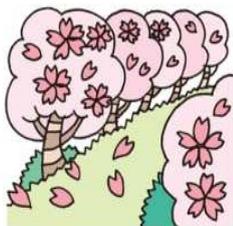


所	イベント	日時・会場	料金等
淡路文化会館 〒656-1521 淡路市多賀600 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400	第2回藤本勝絵画展	~4/13(日) 9:00~17:00 ※展示室 最終日は16:00まで	鑑賞無料
	北淡あゆみ書道展	~4/13(日) 9:00~17:00 ※県民ギャラリー	
	淡路島の伝統芸能と文化のパネル展	4/15(火)~26(土) 9:00~17:00 ※展示室	
	鈴木智鶴子「パステル画」展	4/15(火)~29(火祝) 9:00~17:00 ※県民ギャラリー	
	兵庫県彫刻家連盟淡路展	4/28(月)~5/9(金) 9:00~17:00 ※展示室	
洲本市 市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	淡路洋画セミナー作品展	4/3(木)~29(火祝) 9:00~21:00 ※アールギャラリー 月曜休館	鑑賞無料 【問】市民交流センター
南あわじ市 滝川記念美術館 玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	玉青館のコレクションⅡ GYOKUSEI MUSEUM COLLECTION	4/26(土)~6/29(日) 9:00~17:00 入館は16:30まで 月曜休館(ただし、4/28,5/5は開館、5/7は休館)	大人300円 高大生200円 小中生100円 ※小中生は「ココロカード」「のびのびパスポート」利用可 【問】玉青館
淡路美術協会公募展 第72回展作品募集	【会期】5/4(日)~6(火) 9:00~17:00(最終日は16:00まで) 【部門】洋画・日本画・写真・書・彫塑工芸 【会場】洲本市文化体育館 【出品料】一般1000円(学生無料) 【搬入】5/3(土) 10:00~13:00 【問合せ】淡路美術協会幹事長 寺岡 TEL:0799-22-3031		
淡路土音陶芸展 8人の作家による 淡路島の海	【日時】4/18(金)~20(日) 10:00~18:00(最終日は15:00まで) 【場所】パルシェ香りの館 研修室 【問合せ】淡路土音実行委員会第8回展広報担当 松本 TEL:090-4459-1498 ※4/19(土)13:30~ 佐藤忠昭オカリナ演奏会		

編集だより

今月の特集「ボランティア魂」いかがでしたか?

桜咲き吹く風からも春の息吹を、感じられる季節。目に入る、まばゆい色彩の風景に心躍る。



新年度も始まり気分一新。開放感にひたれる時期だからたくさんの勇気と希望を持って公園や海や山に繰り出してみたいかがでしよう。きっと素敵なワクワクが待っているはずあなたの心にも春の風を吹かせませんか~

応援隊：竹代 結

「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約240カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページでご覧になると、カラー版でお楽しみいただけます。読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

(発行) 淡路生活創造応援隊

淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600

TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400

E-mail a-pocket@hyogo-ikigai.jp

